

3. 11大震(人)災の歴史的意味



日本未来学会
公文 俊平
2011年7月10日

既存システムの限界の露呈



- 非常時対応力の欠如
 - 事態の的確な把握と対応に失敗: 政府も東電も
 - 政府－自治体、自治体相互間の連携に失敗
 - 三カ月立っても義援金の15%弱しか配分できない日赤
 - 大震災は同時に大人災でもあった
- 復興に向けた未来構想力の欠如
 - エネルギー政策
 - 地球環境問題への対応
 - 経済政策 等々
- まさに無惨というほかなし

最後の一押しとしての大震(人)災



- ノマド化への心理的な要因としてこの間もっとも大きかったのは、言うまでもなく東日本大震災でしょう。この大きな災厄は、たとえば「家を買うことで終の棲家を確保する」「終身雇用によって人生の安泰感を得る」という伝統的な日本の安心感覚を一気に吹き飛ばしてしまいました。

これは正確に言えば実は震災がそれらの安全を吹き飛ばしたのではなく、すでにゼロ年代に失われていたそうした人生の安全に対する幻想を震災が最後の一拭きとして吹き飛ばしたといった方がいいかもしれません。

(佐々木俊尚)

つまり、この大震災・人災によって 旧体制(への信頼)は決定的に崩壊



- 旧体制とは
1940年代に形作られた開発主義・日本的社会主義体制
 - 戦時統制経済＋戦後民主政治
 - ✦ 佐藤内閣で一段落、田中の列島改造論は破綻
 - ✦ 田中角栄(小沢一郎)は生活重視路線に転換して補完
 - ✦ しかし不動産バブルとその破裂へ
 - ✦ 新しい発展の契機をつかめぬまま低成長と財政破綻へ

しかし新体制への移行は始まっている



- それが〇〇年代に「突破局面」に入った
日本社会の情報化＝ソーシャル化だ
 - **Political→economic→social**
- これを推進して「智民革命」の実現が必要
 - 智民の元祖はヒッピー→環境主義者→地球エンジニア
への途を歩んだ**Stewart Brand (Whole Earth Discipline)**
 - 日本のニューニート→シートたち
 - **Not formally but socially employed, educated, and trained people.**

情報社会学の見方



- 近代化: 国家化→産業化→情報化
- 今日は近代の成熟局面
 - 国家化は定着・変質
 - ✦ 日本は敗戦後の半国家状態の継続
 - 産業化は成熟:
 - ✦ 第三次産業革命が出現から突破へ: 中核は途上国の都市
 - モバイル都市
 - 情報化が出現: 第一次情報革命も出現から突破へ

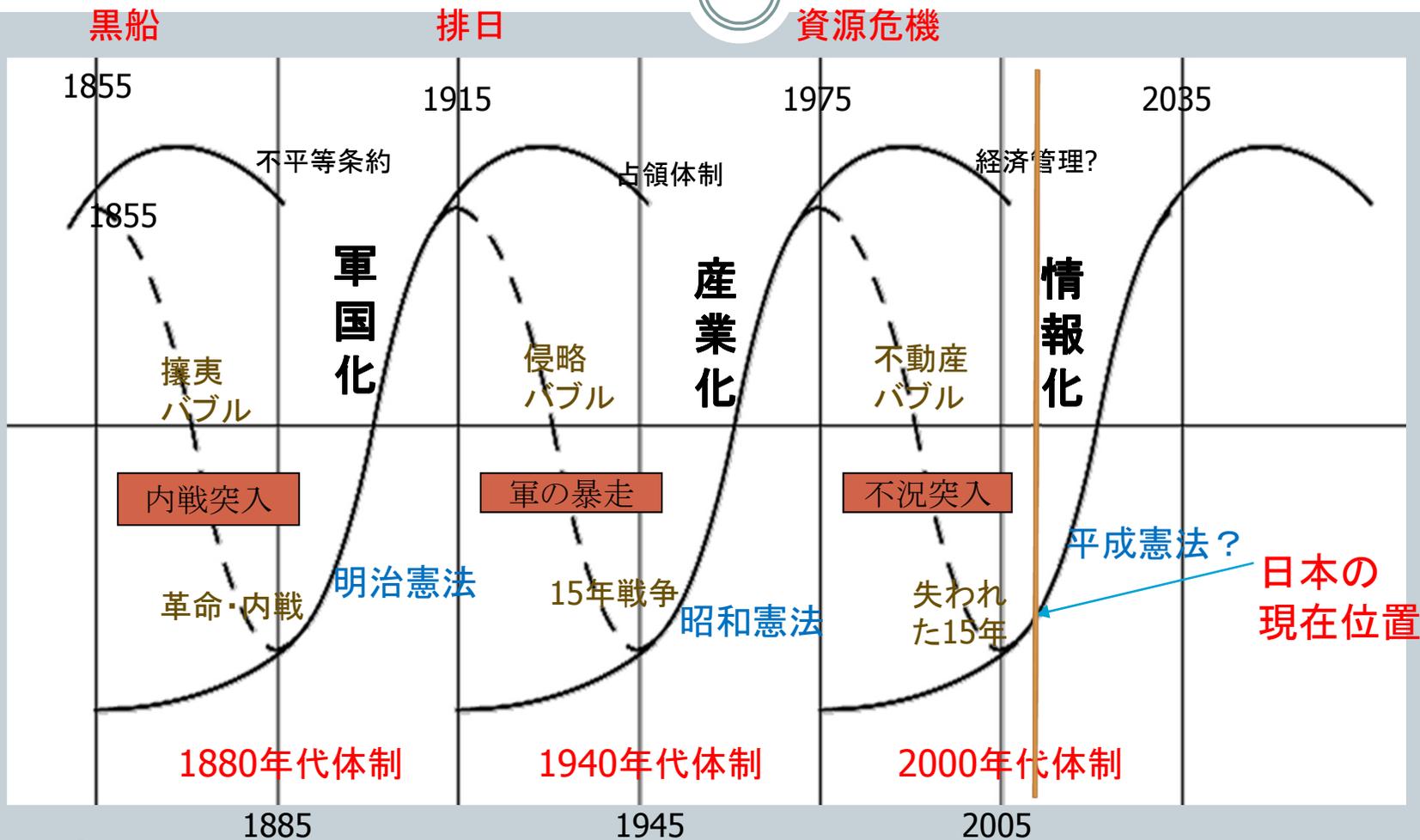
情報化：第一次情報革命が突破へ



- 政治化、経済化からソーシャル化へ
 - 説得と誘導による共働、通識の通有
 - シェア経済と共貨
 - ✦ 共貨は従来の政府紙幣に代わるグループ発行の電子通貨
- 国民、市民に対する智民の台頭：意識と秩序
 - 会社人間からネオニート(シート)への文化変容
- 日本は60年代後半に世界に先駆けてそれを認識
 - 情報革命、情報化、情報社会といったコンセプト
 - しかし「市民」論者はその新しさの理解が不十分。意味不明となる。
 - 21世紀に入って、ようやく理解が深まる→ソーシャル化

挑戦

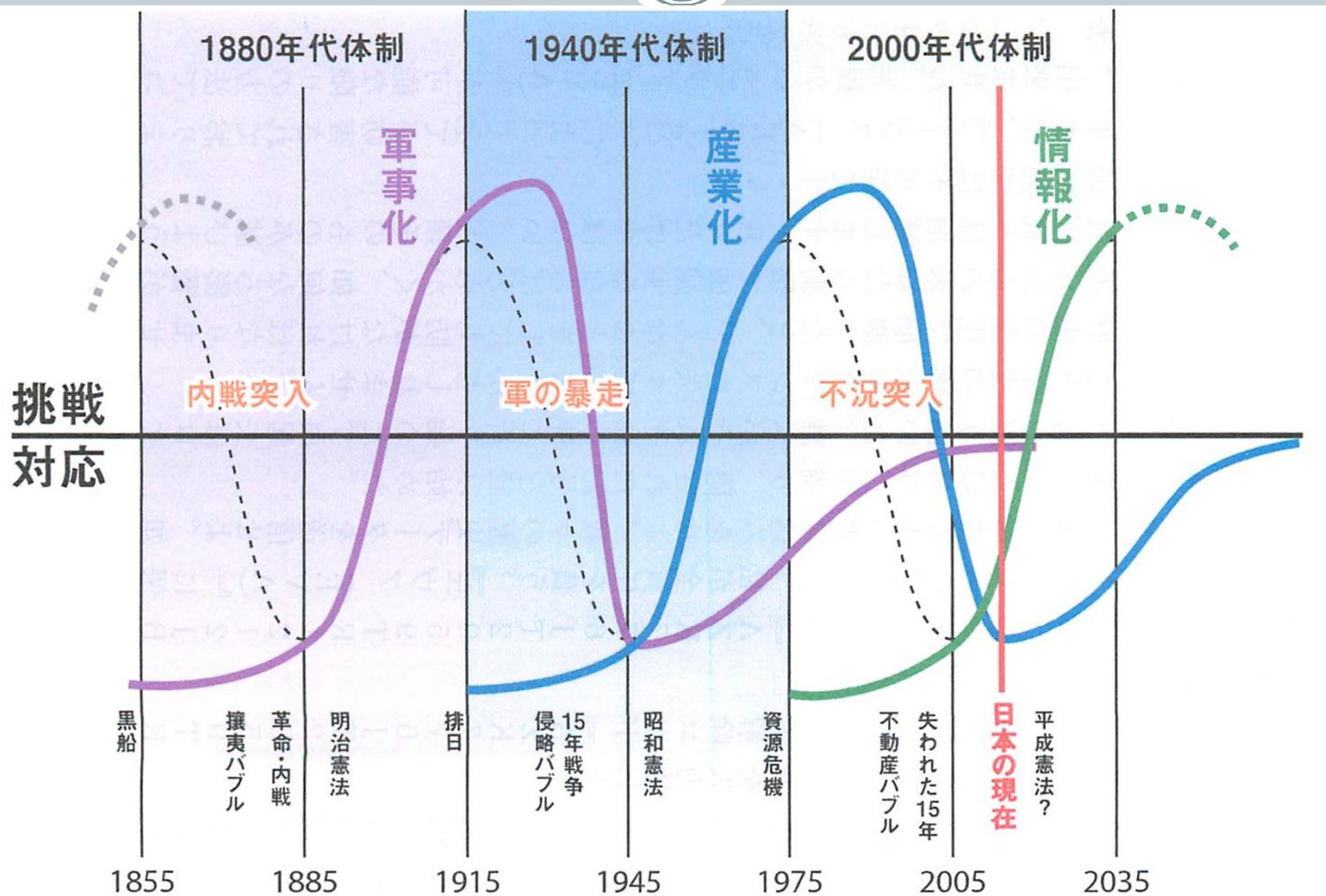
日本の西欧化過程: 60年周期説



対応

パラダイム転換と旧勢力の衰亡

日本の西欧化過程



日本の将来展望と必要な生存戦略



- 大国から中国へ
 - 軍事での「普通の国」化は非現実的
 - ✦ それには核武装が不可欠だがそれは事実上不可能
 - ✦ 米国の「同盟国」として生きる選択肢のみ
 - 核の傘＝軍事・核技術力＋危機管理能力＋情報力
 - 基地と「思いやり予算」＝貢納
 - ✦ その上で中国とも結ぶしかない＝朝貢
 - 経済のリーダーシップの回復も不可能：二流の下
 - ✦ 第二次産業革命の突破基盤の維持・強化に固執した二重の失敗。
 - サービス化(成熟)にも、第三次産業革命にも遅れた。挽回は絶望的。
 - ✦ 人と企業の海外進出・脱出も止められない
 - 目指すはソーシャル化での健闘
 - ✦ インフラ＋プラットフォーム＋サービス
 - ✦ 文化的価値：信頼、克己、共働、楽観
 - ✦ それをになう人材の本格的進出：智民革命
 - ✦ 世界で通用する個人たれ
 - 大前氏の提言：国と自分の運命を同期させるのをやめよ。自助。

現状認識の超長期的枠組み



- スチュアート・ブランドの枠組み
 - 文明史を貫く環境収容力増加の二つの流れ：農業と都市
 - ✦ 人為（農工業）がもたらした環境・気候の変化
 - ✦ 問題解決装置としての都市
 - しかし今日、人類は文明の崩壊につながりかねない気候変動（温暖化）に直面
 - 対処するには叡知（設計科学）の総結集しかない
 - ✦ 都市力、原子力、バイオ、ジオエンジニアリング、メガガーデニング
 - ✦ もともと温暖化は近代文明の産物
 - ✦ 実は古代文明（農業）も氷河期をなくすほどの変化をもたらしていた
 - ✦ だから意識的なエンジニアリングによる対応は可能なはず